

●さくらフォーラムから

1月～3月の活動

・クビアカツヤカミキリ講演会開催 (1/28) →写真1

徳島大学環境防災センター客員准教授の小串重治さんからクビアカツヤカミキリの生態や被害実態、日本での発見の経緯、撲滅運動の現在と今後などについて、スライド上映と共にお話しいただきました。その後、スマートフォンで写真を撮って情報を送る体験をしました。3面に実践活動についてのまとめを掲載しています。

・立体地図とプロジェクションマッピングの会開催 (2/17) →写真2

玉川総合支所街づくり課谷亀緑郎課長と職員2人が玉川地域の立体地図(1.25m四方、25cm角の25ピース結合)を持参され、その上に各種の地図を投影して土地の高低とそれに絡む街の形成史の話などをうかがい、語り合いました。

立体地図は、3Dプリンターで製作したもので、縮尺は平面が1/5,000、高さはその3倍に拡大してあります。

写真3: 立体地図の一部(手前が多摩川、緑の線は主な道路)

写真4: 過去の地図(黄色は低地部分)を投影した立体地図

・石井樹木医と歩く開花前の桜並木探訪を実施 (2/22) →写真5

昨年引き続き、旧・新町住宅地の桜並木を西→南→東大通りの順で一周し、途中、桜の生育の経緯と断面の構成、元気のある枝とそうでない枝の見分け方、樹形の考え方などの説明を受けました。植替え予定の桜の一部は、伐根前で大きな切株を見ることができました。

4月以降の活動予定

・さくらまつりに出展 (桜新町駅前通り、桜新町商店街振興組合主催)

桜新町駅南口、NTTドコモ近く。4/12(日)、11時頃～16時頃

・桜並木の花びら清掃に参加 (桜新町親和会主催、実施日未定)

みなさまへのお願いなど

・当会ホームページ <http://sakura-forum.jimdo.com/> のさくらストリートビューで、深沢・桜新町の桜並木157本の地図上の位置、姿、経歴をご覧ください。ぜひ、ご感想、ご意見をお寄せください。

・当会では、地域の写真(過去～現在)を募集しております。駅前通り、サザエさん通り、深沢・桜新町の桜並木、呑川親水公園その他、この地域の写真をお寄せください。

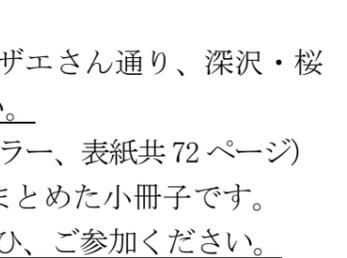
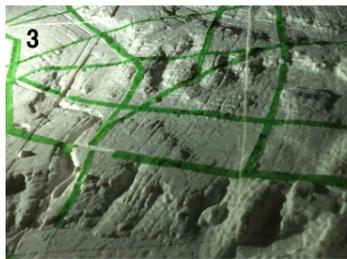
「**深沢・桜新町100年史**」(定価500円)を販売しています。(A5版、全カラー、表紙共72ページ)

・新町住宅地の分譲開始(1913年)前夜からの深沢・桜新町の100年をまとめた小冊子です。

会員募集中: この地域の景観・環境・みどりなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。

花苗をお譲りします (当会会員から)

・万年草(写真6)、あじさい、紅葉、クリスマスローズ、水仙などの苗をお譲りします。下記の当会までご連絡ください。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの活動に取り組む市民団体です。 <http://sakura-forum.jimdo.com/>、fb
2面～3面: 駅前通りの桜、2面: 桜の植替え、3面: クビアカツヤカミキリの駆除、4面: さくらフォーラムから

春を迎える深沢・桜新町の3か所の桜の名所一

これからも桜が元気に咲いてくれる、そのためには、手当てが欠かせません

桜の植替えと剪定→植替えについて詳しくは、2、3面をご覧ください。

- ・駅前通り(八重桜)では、4本の桜が植え替えられました。
- ・旧・新町住宅地の桜並木(桜新町1丁目・深沢7～8丁目)では、剪定と13本の桜の植替えが行われました。
- ・呑川親水公園では、ことしは剪定のみで植替えはありません。

写真 3か所の桜の名所
(2019年撮影)

旧・新町住宅地と呑川親水公園の桜並木は、2018年の大規模剪定後、景色が変わりました。



旧・新町住宅地の桜並木



呑川親水公園の桜並木



駅前通りの桜並木

外来害虫クビアカツヤカミキリの発見と駆除

クビアカツヤカミキリ

・桜や梅、桃を枯らすおそれのある外来害虫、クビアカツヤカミキリが都内でも発見されています。(右写真) 早期の発見と駆除の体制づくりが急がれます。
→詳しくは、3、4面及びニュースレター第37号(12月発行)をご覧ください。

ニュースレターは、ホームページでご覧になれます。 <http://sakura-forum.jimdo.com/>



長谷川町子記念館がオープンします -4月14日(火)10時

- 常設展示室 1階「町子の作品」-「サザエさん」、「エプロンおばさん」、「いじわるばあさん」等の資料
2階「町子の生涯-長谷川町子が描いた様々な作品やその人となりと仕事に関する資料
- 企画展示室 2階 第1回「長谷川町子の漫画創作秘話」2020年4月14日(火)～6月28日(日)
- ショップ、カフェ 1階 誰でも入れる自由な空間。「長谷川町子の人間性や町子が生きた昭和の良さ(明るくポップで少しレトロ)が感じられる、とても居心地のよい空間」です。

長谷川町子記念館

長谷川町子美術館(世田谷区桜新町1-30-6)向かい側

前庭中央にはシダレザクラが植えられます

開館時間 午前10時～午後5時30分(入館締切:午後4時30分)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、翌日)、展示替期間、年末年始

入館料 美術館・記念館共通券 一般900円(800円) 65歳以上800円(700円)、大学生・高校生500円(400円)、中学生・小学生400円(300円)、幼児無料

()内は20名以上の団体、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者

公式サイト: <http://www.hasegawamachiko.jp/>

長谷川町子美術館では収蔵美術品を展示します。

一般財団法人長谷川町子美術館のご了解を得て、提供資料にもとづきまとめました。



発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/> fb
〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話:03(3702)3274 FAX:03(3702)3219
©深沢・桜新町さくらフォーラム、2020
世田谷区地域の絆ネットワーク支援事業補助金を受けて作成しました。

駅前通りの桜

八重桜の植樹 1977年に桜新町に地下鉄が開通した後、1980年に桜新町駅前通り(都道427号)A~B間(馬事公苑通り~教育センター通り*1間)に多種類の八重桜が植えられました。

大阪の造幣局の桜の通り抜け²を参考にし、また旧・新町住宅地の桜並木のソメイヨシノと開花期をずらして長い期間楽しめるようにと、遅咲きの八重桜が選ばれたそうです。

Bから駒沢寄りには区道で、1979年に濃いピンクのカンザンが植えられました。

*1 正式な通称道路名ではありません。
*2 造幣局内は八重桜を主にさまざまな種類の桜が美しく、南門から北門に至る通路約560mが花見の時期に開放されます。

ことしの植替え 開花期を前にギョイコウ2本、シロタエ2本の八重桜が植え替えられました。

ほかに桜新町駅北口~西口間の歩道の広い箇所にコブシ2本が植えられました。
(東京都第二建設事務所担当)

駅前通りのさまざまな表情→
(2019年 穂本健二さん撮影)



カンザン(関山)



ギョイコウ(御衣黄)

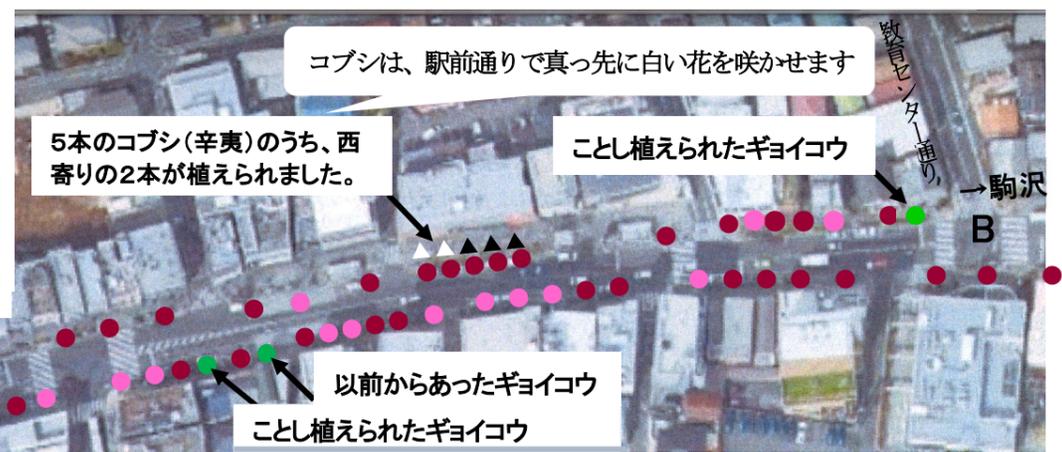
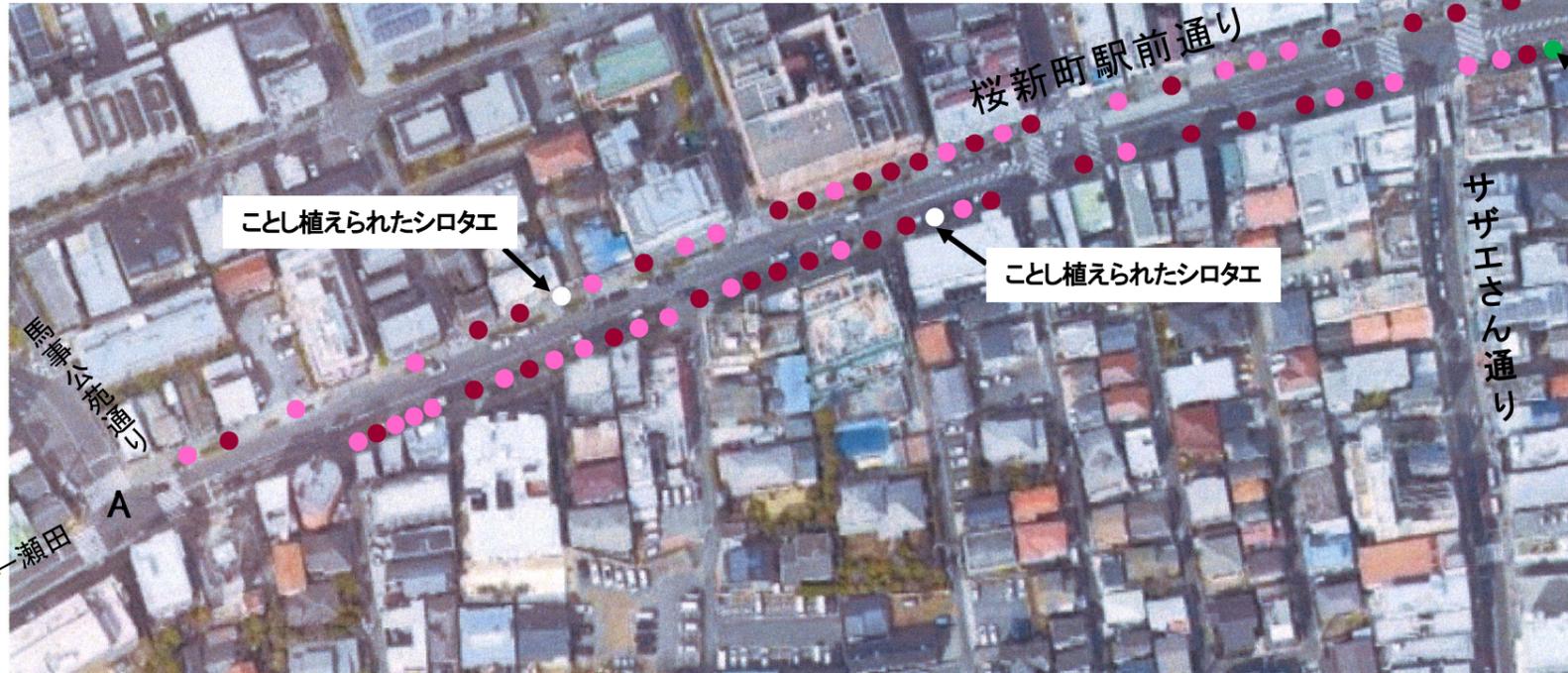


シロタエ(白妙)



フゲンゾウ(普賢象)

写真は、日本花の会桜図鑑(WEB上の図鑑)から、ご了解を得て転載しました。



駅前通りの桜

- 本数** 北側 46本、南側 57本 計 103本
種類 カンザン(関山)(推定を含む) ●
ギョイコウ(御衣黄) ●
シロタエ(白妙) ●
その他及び未確認 ●

フゲンゾウ(普賢象)、イチヨウ(一葉)、ショウゲツ(松月)、ヤマザクラ(山桜)などが候補として挙げられますが、今後の確認が必要です。

ご注意 上記は、ことしの植替え分を除き、当フォーラムの2019年開花期の調査にもとづいていますが、今後の精査が必要な段階のものです。
間違いなどにお気づきの方は、お知らせください。



旧・新町住宅地の桜並木の桜 13本の植替え

2019年度の区による植替えは、右図の13本です。



「サクラ植替えのお知らせ」と「街路樹初期診断票」(左下写真)が掲出されました。

(1本は鮫肌胴枯病の疑いと掲示済み。)

診断票の点検項目は、以下の8項目。

- ①開口空洞はないか、
- ②キノコが生えていないか、
- ③樹皮の異常はないか、
- ④押したら揺れないか、
- ⑤不自然に幹が傾いていないか、
- ⑥枯れている枝がないか、
- ⑦枝の分岐部に異常はないか、
- ⑧建築限界*を超えている枝はないか。

点検項目で「あり」となったものについて、票に特記事項(補足説明)が書かれていました。

*建築限界：構造物を配置してはならない範囲。車道上：4.5m、歩道上：2.5m



伐採：2月上旬~下旬 植付：3月上旬~下旬

クビアカツヤカミキリからサクラを守る実践活動—市民参加型をめざして

●クビアカツヤカミキリの生態

①クビアカツヤカミキリは、木の中でさなぎから成虫になり、幹に細長い穴(脱出孔)をあけて出てきます。成虫は、5月末~8月に発生します。

②成虫は、すぐに交尾した後、飛び回って幹や主枝の割れ目に産卵します。孵化した幼虫は木の内部に入り、木質を食べていきます。幼虫が入り込んだ木からは、大量のフラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)が排出されるので、目印となります。

③幼虫は、木の内部で2~3年かけて成長し、さなぎになります。



フラスの例

●駆除には? いまのところ、フラスの発見と成虫の捕獲が駆除への第一歩です。

都市での被害木の多くは、市民にとって身近な公園、学校、神社、街路、個人の庭に植えられた樹木ですので、市民による駆除活動が力を発揮します。樹木の管理者と連携しつつ市民が駆除活動に取り組む体制をつくる必要があります。

フラスの発見 他のカミキリのフラスとの判別は難しいですが、フラスは5mほど離れた位置からでも比較的にみつけやすいので、クビアカツヤカミキリ駆除の第一歩として、フラスを発見すれば、フラスの出た樹木を経過観察の対象にすることができます。

成虫の捕獲 クビアカツヤカミキリの成虫は特徴的で、他のカミキリとまちがえる可能性は低い上、動きは俊敏でなく、捕獲が容易です。特有の臭い(ジャコウ臭)を発しますが、健康上の被害はなく市民でも安全に捕獲できます。

本稿は、講演会(4面参照)でのお話や懇談内容をもとにまとめました。